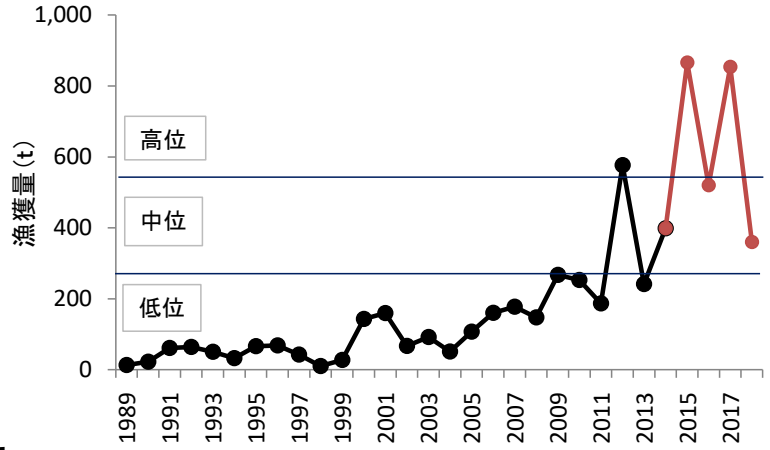


資源の動向 「高位・横ばい」

ブリ資源量は全国的に増加傾向であり、その資源量は現在統計開始以来の最高水準にある。相模湾のブリ漁獲量はブリ資源量と正の相関関係が認められており、資源の増加に伴い、2012年以降急増している。相模湾の直近5年の傾向は「高位・横ばい」である。

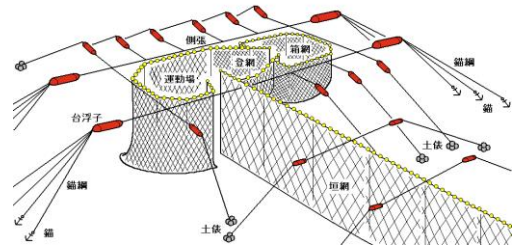


相模湾のブリ類漁獲量の経年変化
(定置網: 1989~2018)

主な対象漁業

○定置網

定置網の構造と各部の名称



生物学的特性

○分布: 日本の沿岸全域に分布

○移動: ブリは2歳未満の未成魚は大きな回遊をせずに地先付近に滞在し、2歳以上となった成魚の多くが東シナ海の産卵場まで南下回遊を行う。産卵を終えた成魚は索餌のため北上回遊を行う。

○成長・産卵期: 1歳で尾又長40cm以上、2歳で60cm前後に成長する。またブリは出世魚として知られ、成長段階ごとに呼び名が変わる。相模湾ではモジャコ→ワカシ→イナダ→ワラサ→ブリと呼び名が変わる。産卵可能年齢は2歳以上とされ、寿命は7歳前後と考えられている。

